



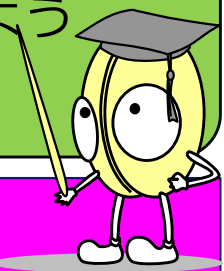
令和7年播き麦栽培管理情報

実需者の求める品質を目指そう！

一部のほ場で雑草発生！

雑草対策、土入れ、麦踏みなど基本技術を励行しよう

香川県中讃農業改良普及センター



生育状況に応じた栽培管理を！

11月以降の気温は平年並み～やや高めで推移しており、生育は平年並みからやや早まる傾向にあります。

播種適期以後は寡雨で経過しているものの、一部のほ場では、雑草の発生が見られます。本年は、寡雨の影響で土壌が乾燥し、初期除草剤の効果が安定しなかった可能性が考えられます。また、播種前に発生していた古草が残っていると思われるほ場もあります。

麦の生育状況に合わせて、中期除草剤の散布、土入れ（排水溝の補修）を実施しましょう（除草剤の効かない雑草は、土入れで抑制）。また、根の生育促進を図るためほ場が乾いているうちに麦踏みを行いましょう。

さめきの夢2009とさめきの夢2023の生育と管理の違い

品種の違いを理解し、栽培管理に反映させましょう。

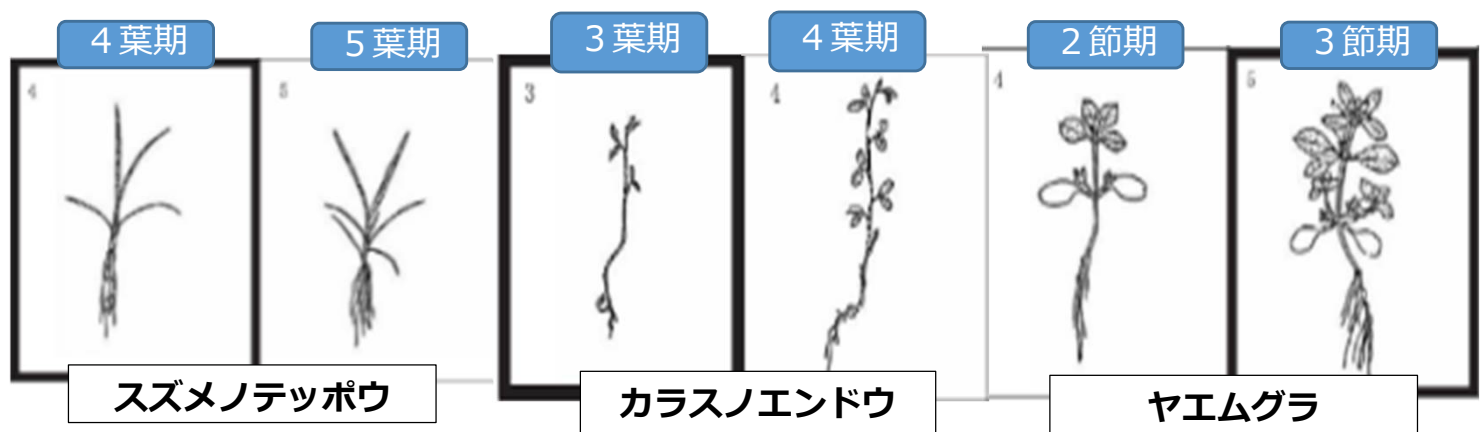
①節間伸長開始期が、さめきの夢2023はさめきの夢2009よりも**0～12日程度早い！**（出穂以後はほぼ同じ）

→ハーモニーDF、エコパートフロアブルの使用**晩限が早まります**

→麦踏みの**晩限が早まります。**

②追肥は、さめきの夢2009では2回ですが、さめきの夢2023は**2月下旬から3月上旬に1回**です。

除草剤名	対象雑草名	使用時期・回数	注 意 点
ハーモニーDF (5~10g/10a)	一年生広葉雑草及びスズメノテッポウ	麦3葉期~節間伸長前まで (スズメノテッポウ5葉期まで/1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメノカタビラやカラスノエンドウ、抵抗性スズメノテッポウには効果が劣る。 ・飛散防止ノズルを使用し周辺の野菜等にかからないようにする。 ・機械器具は使用後速やかに消石灰水500倍液で十分に洗浄する。
エコパートフロアブル (50~100mL/10a)	一年生広葉雑草	節間伸長開始期まで、ただし収穫45日前まで (2回以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤエムグラは、3または4節期までに散布する。 ・カラスノエンドウ、イネ科雑草には効果が劣る。 ・麦踏後数日間使用を避ける。
バサグラン液剤 (100~200mL/10a)	一年生広葉雑草 (イネ科を除く)	小麦は収穫45日前までは だか麦は収穫90日前 まで/1回	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ科雑草には効果がなく、イネ科雑草が混在する場合はこれらに有効な除草剤との体系で使用する。
MCPソーダ塩 (200~300g/10a)	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期但し、収穫45日前まで/1回	<ul style="list-style-type: none"> ・分けつ抑制作用があるため、莖数が十分確保されてから散布する。暖かい日が続く時期に散布すると、除草効果が高い。



★それぞれ**太枠の葉期になるまでに**除草剤を散布しましょう！葉期や節期が進んだ個体もあります。早めに防除しましょう。

草種別、各除草剤の効き目

草種により、除草剤の効果は異なります。

除草剤名	ヤエムグラ	カラスノエンドウ	スズメノテッポウ	タデ
ハーモニーDF	○	△	○ 抵抗性の場合、効果なし	△
エコパートフロアブル	○	△	—	△
バサグラン液剤	○	△	—	○
MCPソーダ塩	△	○	—	△

追肥の基準

小麦のタンパク質含有率向上を目指そう！

★黄化症状の発生や出芽数が少ない場合、追肥を分施するか、単肥(硫安)などを施用し、その窒素分の追肥を差し引きしましょう。

低P K肥料を施用している場合は、5年を目途に土壌診断を受けましょう。

令和8年産 栽培しおりより

肥料名	麦種	追肥(時期の目安)	施用量(kg/10a)	
硫加燐安402 又は (朝日BB488) 又は (PKセーブエコ488)	小麦 さぬきの夢 2009	水はけの良いほ場 中間追肥 1月上旬～ 1月中旬	20	
		追肥(2回目) 2月下旬～ 3月上旬	25	
		水はけの悪いほ場 (タンパク質含有率の低いほ場) 中間追肥 1月上旬～ 1月中旬	25	
		追肥(2回目) 2月下旬～ 3月上旬	30	
	小麦 さぬきの夢 2023	水はけの良いほ場	追肥 2月下旬～ 3月上旬	45
		水はけの悪いほ場 (タンパク質含有率の低いほ場)		55
はだか麦	水はけの良いほ場	追肥 2月下旬～ 3月上旬	20	
	水はけの悪いほ場		25	

黄化症状(葉色が薄い、葉先が黄色くなりつつあるなど)が見られる場合は、予定追肥の半量を早めに施用しましょう。

◎ 土入れ (追肥後にも行うことで、施肥効果が高まります)

- ・ **使用できる除草剤の種類と回数が限られています。**
- ・ 土入れには**抑草効果**があります。排水溝の補修も兼ねて行いましょう！
- ・ **除草剤で防除できなかった雑草 (スズメノカタビラなど) を、抑制**しましょう！！
- ・ 播種後につけた排水溝も生育期間中の降雨や麦踏み等により崩れて、排水性が悪くなります。
→土入れで排水溝の補修を行いましょう。

効果

- ①排水性の向上
- ②無効分げつの抑制
- ③倒伏防止
- ④雑草の生育抑制
- ⑤肥効の増加



◎ 麦踏み (実施可能時期：分げつ始期～茎立ち直前)

- ・ 春先の凍霜害や収穫前の倒伏を避けるため、**麦踏み**を**複数回実施**しましょう。特に**11月上旬播き**のほ場については、生育が**過繁茂気味**となっていますので、**茎立ち前(2月上頃)まで**に実施しましょう。

効果

- ①草丈や節間伸長を抑える。
→**倒伏・凍霜害を軽減。**
- ②**分げつ促進**や**根の張り**を良くする。
- ③**遅れ穂の減少**→**穂揃い**が良くなる。



○ 注意点

- ①土が鎮圧ローラーに付着しない程度に乾いていること
- ②葉や茎に露がついていないこと
- ③土壌の表面が締まる程度を目安

降水量は、平年並みから少な目の予報ですが、近年は短時間にまとまって降る場合が、よくあります。

土壌条件や生育状況などを見極めて、**適期に作業**を行いましょう。